

令和3年度 新潟県コンクリート診断士会 第1回技術セミナー概要

日 時：令和3年10月27日（水）8時45分～17時15分

場 所：オンライン開催

参加人数：ZOOM受講者54人、YouTube視聴者84人、合計138人

内 容

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------|------|
| ①コンクリート診断技術について…………… | (株)デンカリノテック | 尹 慶 |
| ②トンネル定期点検要領の改訂概要と新技術について…………… | (株)デーロスジャパン | 森山 守 |
| ③BMSSを活用した橋梁維持管理業務の提案…………… | (株)IHI インフラシステム | 廣井幸夫 |
| ④コンクリート構造物の耐久性と維持管理…………… | 長岡技術科学大学 名誉教授 | 丸山久一 |
| ⑤橋梁メンテナンス技術について…………… | 東京ファブリック工業(株) | 吉田孝広 |
| ⑥橋梁ブラスト工法の現状…………… | (株)デーロスジャパン | 寺田智子 |
| ⑦ポリマーセメントモルタル乾式吹付工法…………… | リフレドライショット工法協会 | 竹内俊英 |
| ⑧コンクリート構造物を長寿命化させる補修・補強工法の紹介…………… | ポゾリスソリューションズ(株) | 岡田幸夫 |
| ⑨コンクリート構造物用水切り工法について…………… | アオイ化学工業(株) | 江原 徹 |

技術セミナー概要

コンクリート構造物は、劣化要因（疲労、収縮、凍害、塩害、ASR、酸性、炭酸化 等）によって損傷（ひび割れ、破壊、スケーリング、汚れ、溶解、喪失等）が発生するが、複合劣化については、複数の劣化要因が重なることで、損傷の速度が変化すると考えられる。また構造物の性能劣化について、RC 構造物に関しては補強鋼材の腐食程度と耐荷性能との関係がわかってきたという報告があった。

その他に、調査・診断業務の実務者や最新の材料・工法についての報告が行われ、複合劣化や最新の調査診断技術についての情報を得ることができた。